

様式1 指導力パワーアップコース フェイスシート

1. 自治体名	静岡県
2. 連携先大学名	静岡大学
3. テーマ	研究授業をととして、教員のICT活用指導力向上を図る次期学習指導要領対応型「静岡県版校内研修プログラム」を開発するとともに、校内研修リーダーを養成する。
4. 特色となるキーワード	教員間のICT活用スキル差、校内研修会と研究授業、校内研修リーダーの育成、アクティブ・ラーニング、全県実施体制の整備、学校の実態に応じた校内研修

5. 現状と課題

<現状>

- (1) ICT 機器の操作が得意あるいは ICT 機器に興味のある特定の教員の活用に留まっており、学校全体における日常的な活用までには至っていない。
- (2) 「学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果（文部科学省）」（平成28年3月1日現在）によると、「授業中に ICT を活用して指導する能力」について「わりにできる」「ややできる」の回答率は、静岡県全体で 68.0%（全国順位 41 位）である。
- (3) 「教育の情報化」の推進を図るため、静岡県及び掛川市では下記計画を策定し、ICT を活用した教育、ICT 環境の整備及び教員の ICT 活用研修の充実に取り組んでいる。

ア 静岡県教育委員会

- ・静岡県教育情報化推進基本計画（第2期計画）（平成26年度～29年度）
- ・静岡県「ICT を活用した教育」推進計画（平成28年度～29年度）

イ 掛川市教育委員会

- ・掛川市教育情報化推進基本計画（平成27年度～31年度）

<課題>

- (1) ICT 機器を授業の全ての場面で使いこなさなければならないと考えている教員が多く、教員の意識改革が必要
- (2) 各学校における教員間の ICT 活用スキル差を解消するためには、校内研修リーダーを育成し、校内研修会や学校全体での推進体制が必要
- (3) 次期学習指導要領に対応した学習活動では、ICT 機器の効果的な活用が求められている。

6. 「研修プログラム」作成に当たっての考え方

(1) 「静岡県版校内研修プログラム」作成の考え方

- ア 「静岡県版校内研修プログラム」（以下「校内研修プログラム」という。）を活用した研修により、教員の ICT 活用指導力が向上し、ICT を活用した授業改善に取り組むことで、教育の質の向上を図る。

イ 平成 26 年度「ICT を活用した教育の推進に資する実証事業（WG3）」で作成された 10 の研修教材モジュールや静岡県で実施している ICT 活用に関する研修教材をベースに、静岡大学、県総合教育センター及び掛川市教育委員会と連携して校内研修プログラムを作成した。

ウ モジュール構成は、下図に示すように、各学校の実態に応じてステップアップできる構成とした。モジュール 4～7 の授業における ICT 活用を中心に、モジュール 1～3 では、情報モラル、情報セキュリティ及び著作権など「教育の情報化」に関する教材を作成した。また、モジュール 8～10 では、アクティブ・ラーニングの視点に立った ICT 活用に関する教材を取り入れ、次期学習指導要領対応型モジュール構成とした。

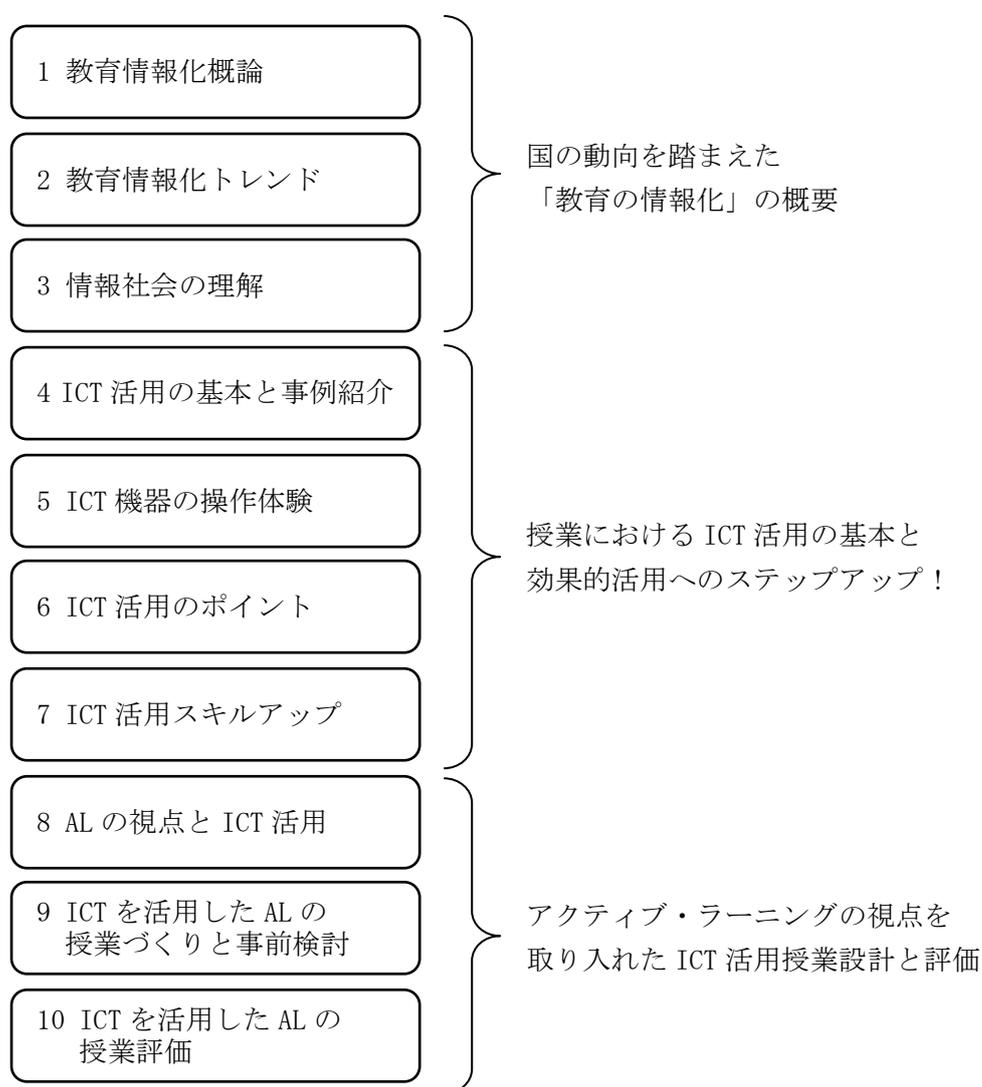


図 校内研修プログラムのモジュール構成図 ※AL：アクティブ・ラーニング

(2) 本事業における「校内研修プログラム」の活用

ア 実証校では、校内研修会と学校訪問（研究授業及び公開授業）のサイクルにより、研修と授業実践を繰り返した。その中で、校内研修リーダーを中心とした学校全体での ICT 活用推進を図るとともに校内研修プログラムを改善した。

＜校内研修会＞

作成中の校内研修プログラムを紹介しながら、校内研修リーダーと打合せを行い、学校の実態に応じた研修内容について検討し、校内研修リーダーを講師とした校内研修会を実施した。

＜学校訪問＞

研究授業及び公開授業では、毎回異なる教員が授業実践し、多くの教員が参観することで、ICT の活用効果を学校全体で実感してもらうことをねらいとした。

また、研究授業では、県総合教育センターの各教科の指導主事も同行し、ICT 活用と教科指導の両面から指導助言を行い教員の授業力向上を図った。

イ 作成した校内研修プログラムは、平成 28 年に県総合教育センターで実施した「ICT 校内研修リーダー養成研修」（県内抽出校が参加：県立学校 19 校、掛川市内小中学校 31 校）で活用し、参加校は研修受講後に ICT 校内研修会を開催した。

(3) その他

定期的に「授業実践振り返りシート」を実証校全教員に提出してもらい、取組状況や課題・不安など、教員の実態や意識の変化を把握し、学校の意見等を校内研修プログラムに反映させた。

7. 大学との連携の工夫

- (1) 学部生や大学院生が実証校における校内研修会や学校訪問に参加し、学校の現状や必要とされている ICT 活用指導力等を理解することで、教職に就いてから即戦力で ICT を活用した授業ができる人材を育成することを目指した。
- (2) 教員免許更新講習等、大学が開催する現職教員向けプログラムと校内研修プログラムが連携することで、相乗効果を目指した。
- (3) 県総合教育センターが作成したアクティブ・ラーニングリーフレットには、静岡大学益川准教授が研究協力者として携わっており、そのリーフレットを活用することで、アクティブ・ラーニングの視点を取り入れた ICT 活用に関する研修教材を校内研修プログラムに取り入れた。
- (4) モジュール 3「情報社会の理解」では情報モラル教育として、静岡大学塩田真吾准教授が開発したカード教材による演習内容を校内研修プログラムに取り入れた。

8. 本事業での成果と今後の展望

<成果>

(1) 校内研修プログラム「静岡県版校内研修プログラム」の完成

静岡県では、本事業で抽出校を対象に実施した「ICT 校内研修リーダー養成研修」を、次年度以降、県内全公立小・中学校（指定都市を除く）及び全県立学校を対象に実施する計画である。（平成 29 年度から平成 30 年度の 2 年間）

「ICT 校内研修リーダー養成研修」で活用する校内研修プログラムが完成したことにより、静岡県全体の教員の ICT 活用指導力向上を図るための体制づくりが整ったことは大きな成果となった。

(2) 変容調査における成果

ア ICT を活用した教育が、児童生徒の興味関心を高め、分かりやすい授業を実現するために有益であると感じている教員の変化

	平成 27 年 8 月	平成 28 年 12 月
感じている	87.6%	96.7%
感じていない	12.4%	3.3%

感じていない教員の割合が減少し、95%以上が有益であると感じているため、教員の意識改革が校内研修等をとおして行われたと考えられる。

イ 授業における ICT 活用状況の変化

	平成 27 年 8 月	平成 28 年 12 月
日常的に活用	13.9%	27.1%
週または月に数回	38.7%	52.1%
活用なし	47.4%	20.8%

活用なしの教員が大幅に減少しているため、ICT 機器の操作が得意あるいは ICT 機器に興味のある特定の教員の活用に留まっていた現状から、徐々に学校全体への活用へと広がっている様子が確認できる。

ウ 教員の ICT 活用指導力の変化「授業中に ICT を活用して指導する能力」

	平成 27 年 8 月	平成 28 年 12 月
できる	48.0%	77.3%
できない	52.0%	22.7%

「学校における教育の情報化の実態等に関する調査結果（文部科学省）」（平成 28 年 3 月 1 日現在）による県全体の上昇率 2%と比較すると、約 30%の伸び率は大きいと思われる。授業での活用状況が増えてきているため、今後、更に授業実践を積み重ねることで「できる」教員の割合は増加していくと考えられる。

(3) 「(2) 変容調査における成果」に効果的だったと思われる取組

ア 校内研修会と学校訪問をとおした授業実践のサイクル

イ 校内研修リーダーの育成

ウ 研究授業における ICT 活用と各教科指導の両面からの指導助言

エ 授業実践振り返りシートの活用

(4) 実証校における特長的な取組

ア 校内研修

- (ア) 教員の ICT 活用スキル別校内研修会の実施
- (イ) 校内活用事例の紹介

イ 公開授業

- (ア) 授業者にも参観者にもハードルを下げた公開授業の実施
- (イ) 他校の情報担当者の参観

ウ 組織的な取組

- (ア) 複数の校内研修リーダーによるそれぞれの得意分野をいかした役割分担
- (イ) 校内 ICT 活用委員会の立ち上げ

エ ICT 機器整備

- (ア) 校内に整備されている ICT 機器の把握と管理方法
- (イ) ICT 機器貸出し方法の工夫

<展望>

- (1) 校内研修プログラムのモジュール構成や研修教材の定期的な見直し
- (2) 特別支援学校に関するモジュール作成
- (3) 次期学習指導要領に対応した教員の ICT 活用指導力向上に向けた取組

ア 平成 29 年度～30 年度

本事業で抽出校を対象に実施した「ICT 校内研修リーダー養成研修」を県内全公立小・中学校（指定都市を除く）及び全県立学校で実施し、授業における ICT 活用の定着と教員の ICT 活用指導力の底上げを図る。

イ 平成 31 年度以降

地区毎に ICT 先進校を設置し、公開授業及び大学等有識者による指導助言・講演をとおして、次期学習指導要領に対応した教員の ICT 活用指導向上を目指していく。